



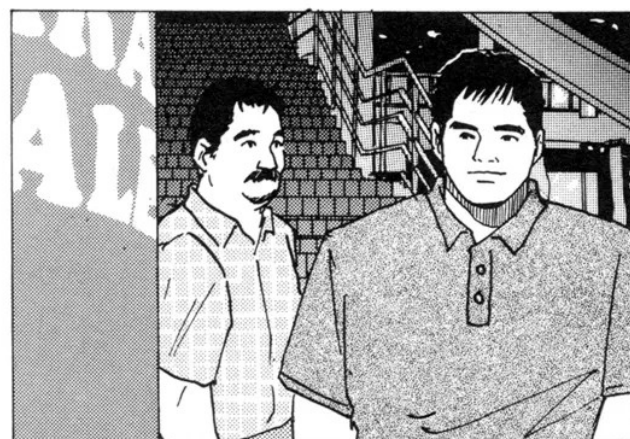
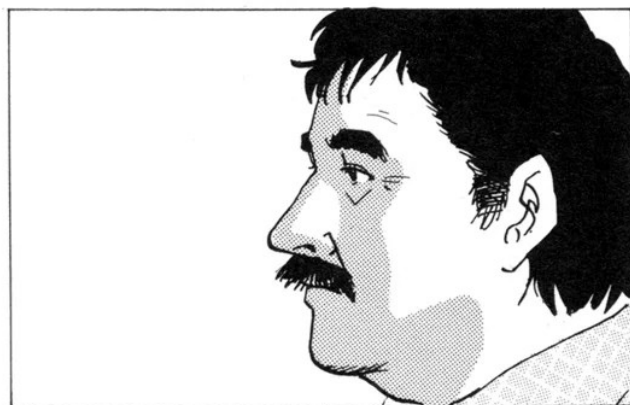
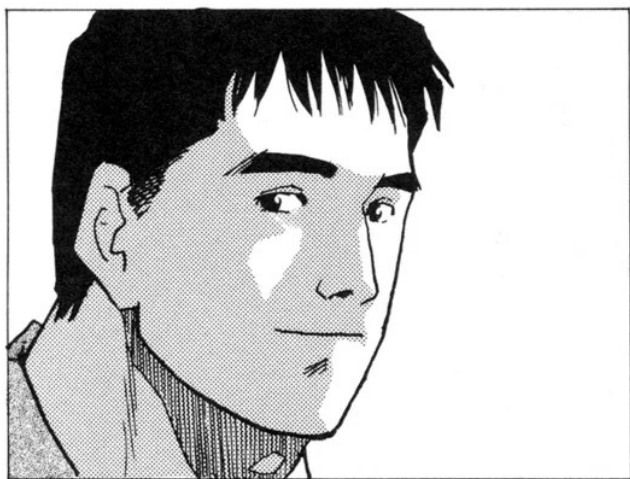
みちくさ

COMIX by
上条 毬男

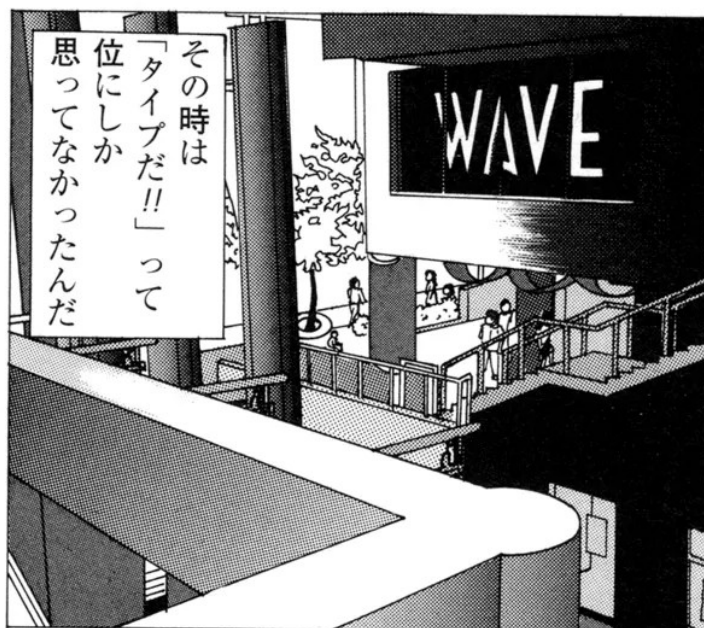


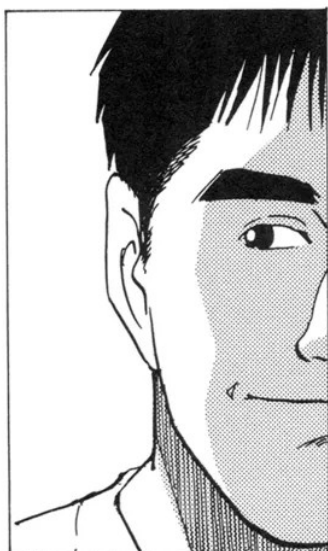
出張先で
時間余ったんで
ぶらぶらと
歩いてたんだ

最初はね
ほんと偶然
だったんだよ



目が合っ
てな
「こいつそ
うだ」っ
て
思った…
あいつも
同じ
に思っ
たらしい
けど





えっ!!



じゃ、お先
マスタ
お休みなさい



あら
もうお帰り?

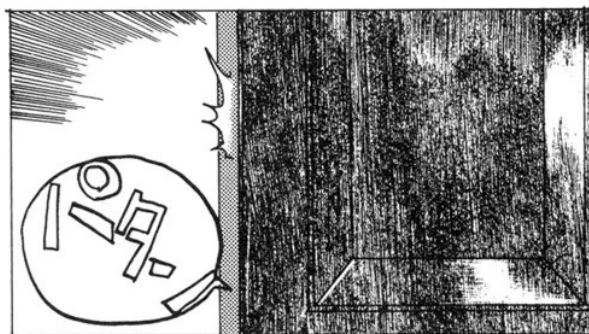
マスタ
ごちそう
さま

ズ
ッ

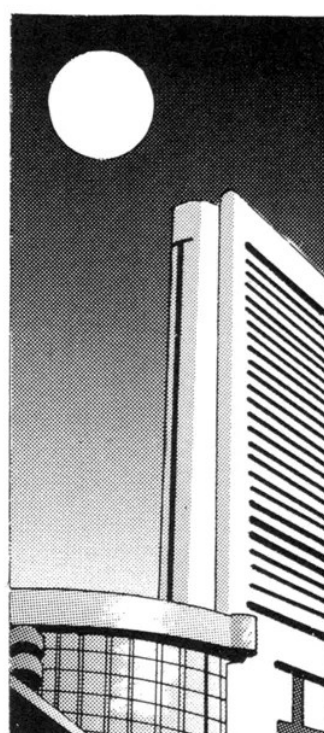
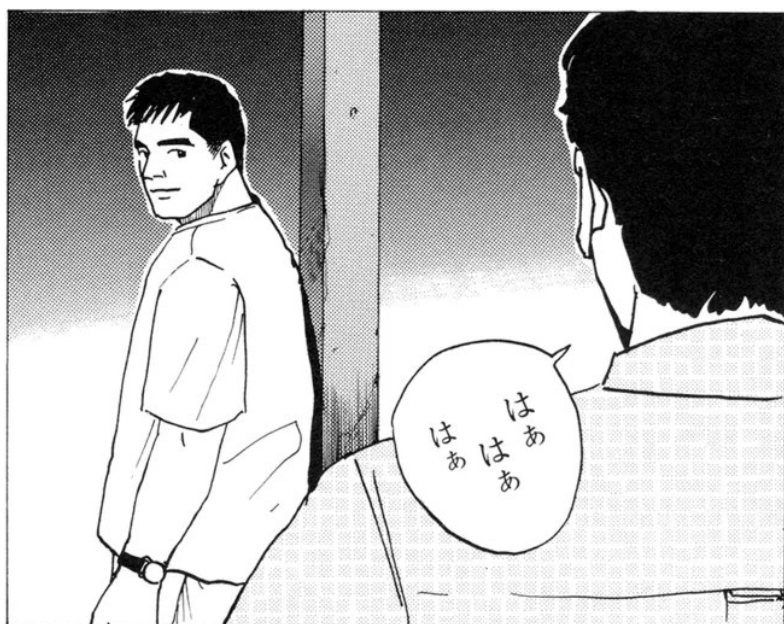


あら
正ちゃんまで
帰んの?

ん、ああ
明日、仕事
早いから



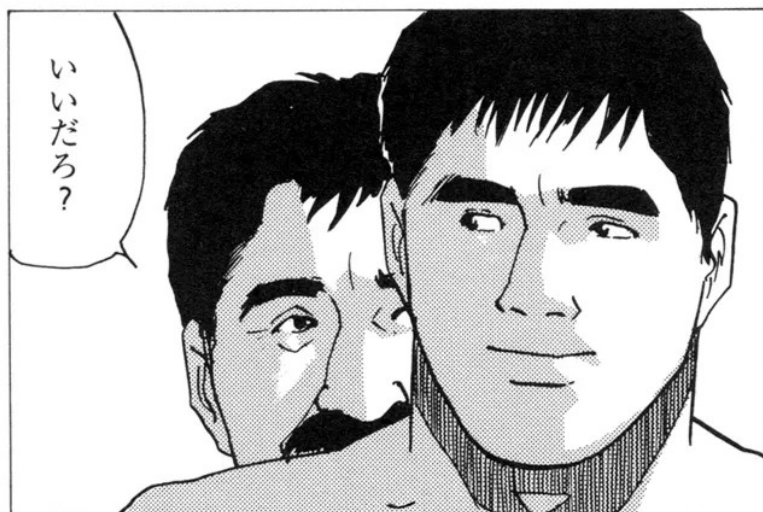
マスタ
僕もお勘定
してくれるかな













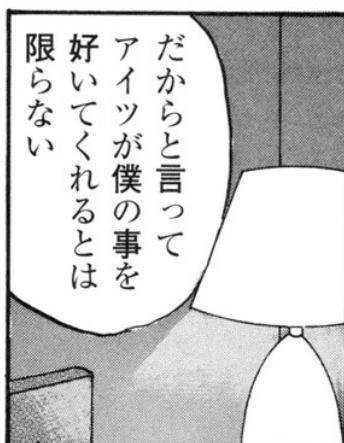
お前が
お前だけい
れば
それでいい



僕みたいなん
で
いいの？



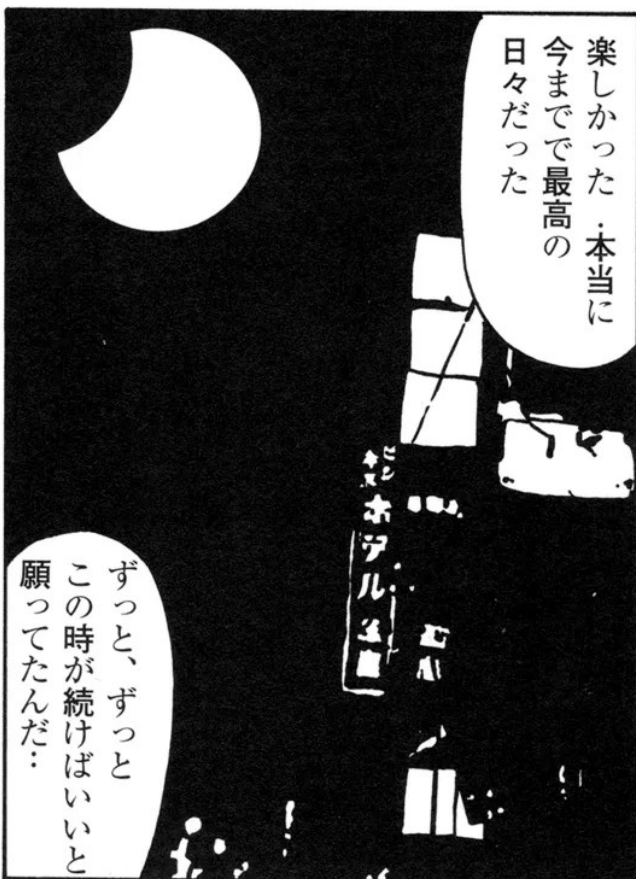
ましてや
20も年が
離れていたし



だからと言って
アイツが僕の事を
好いてくれるとは
限らない



これは一つの賭けだった
何しろ直人は私にとって
理想の男だったからね



楽しかった・本当に
今までで最高の
日々だった

ずっと、ずっと
この時が続けばいいと
願ってたんだ：

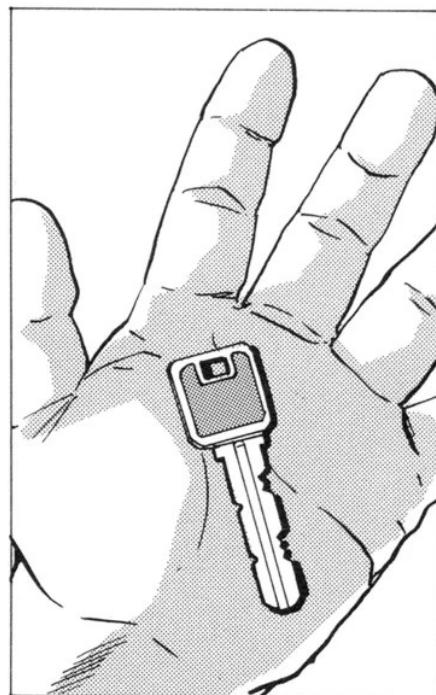
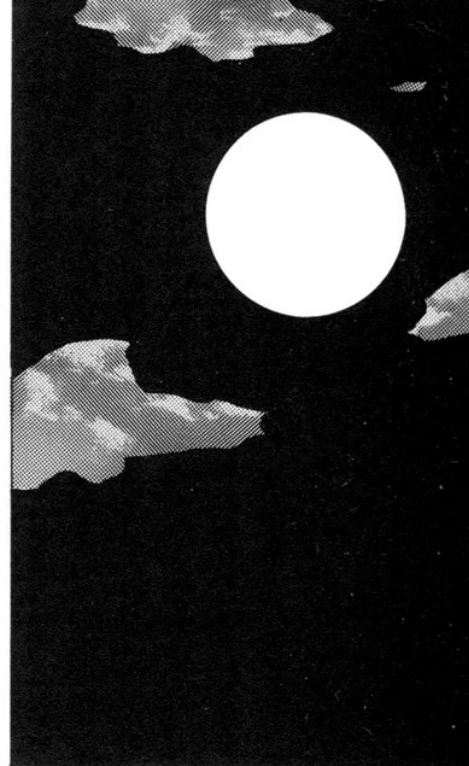


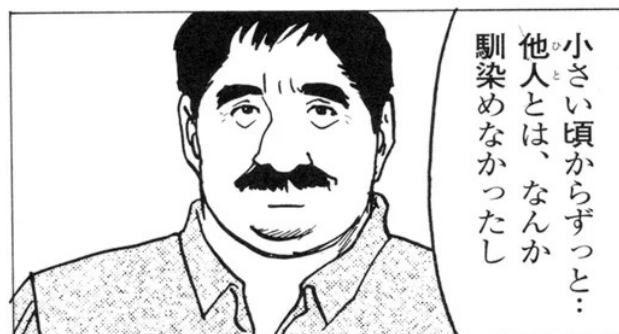
で、どうだったんです？
彼、OKしたん
でしょ

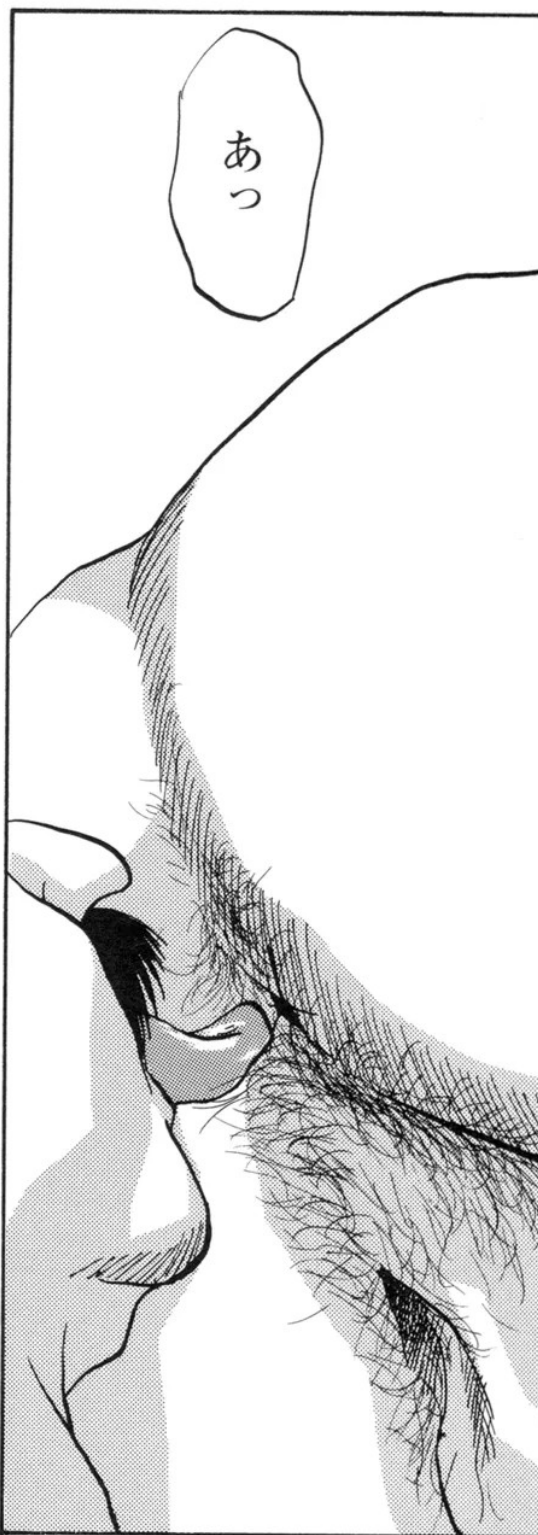
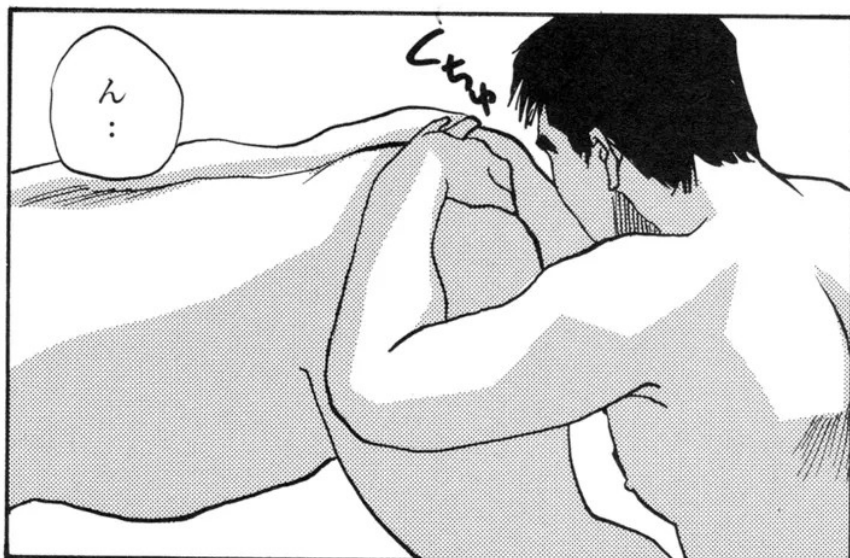


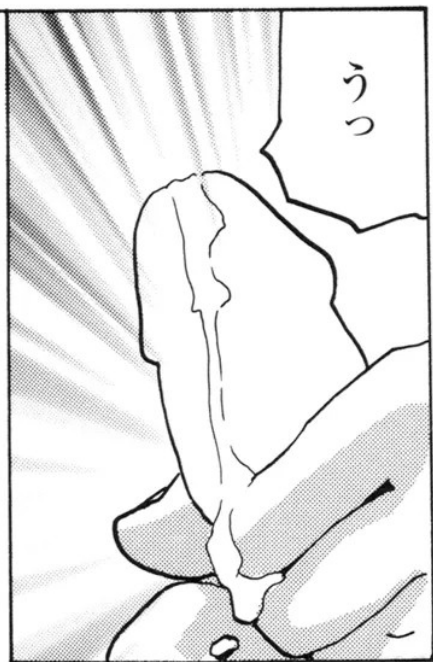
そう・そして
僕たちは付き合い
だしたんだ

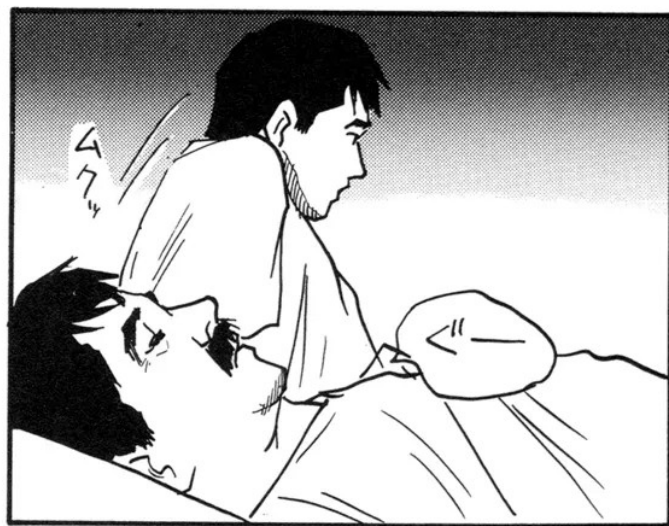
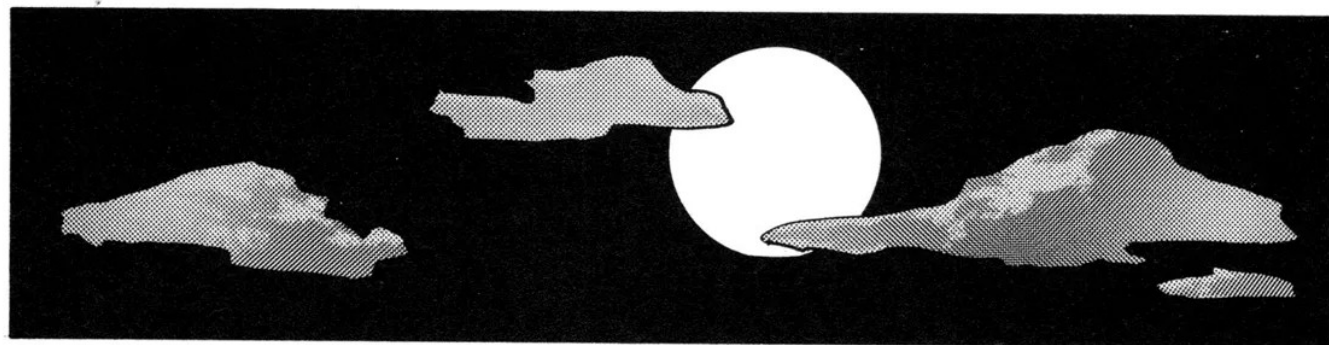






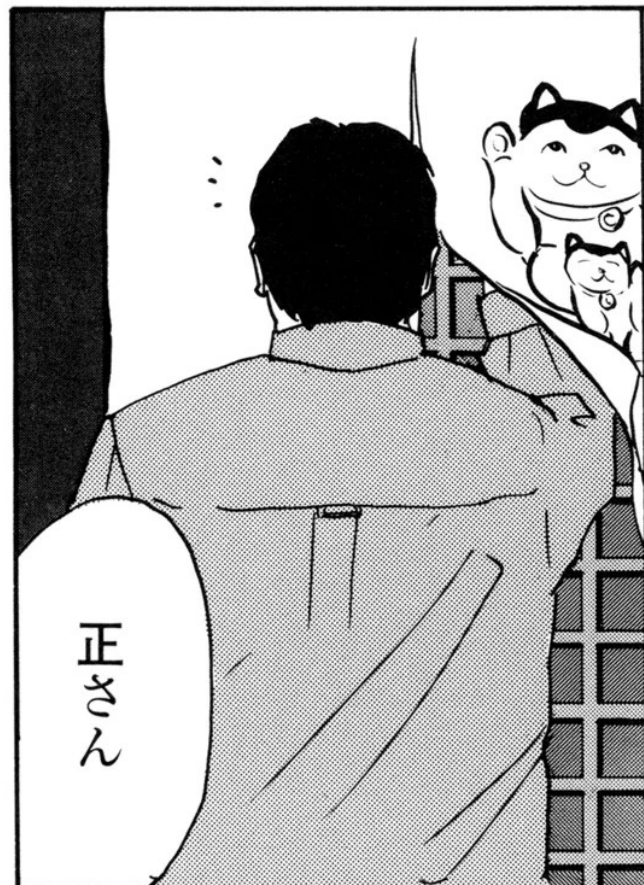


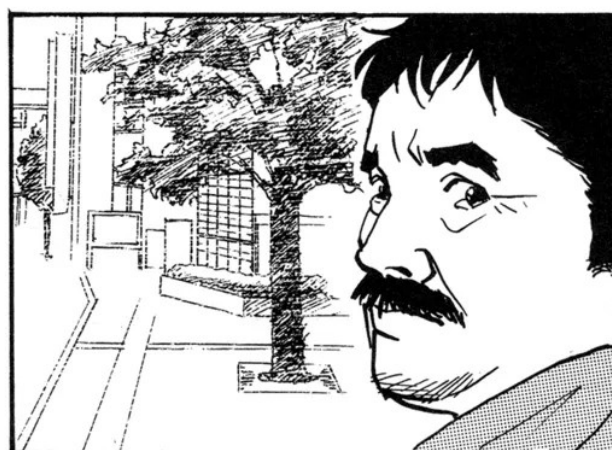
















バカだなあ：

別れなんて
そんなのいちいち
気にしても仕方ないだろ？

ん：

でも、嬉しいよ
また帰ってきてくれて
俺、あきらめかけて
たんだぞ。ったく、
仕方のない奴だなあ

ごめん

あやまらなくて
いいよ：

でもな、もう
二度と俺の前から
消えないでくれよ

わかったな！！

ん

嘘ついたら、針
千本飲ますぞ

…ん、いいよ…
千本でも一万本でも…

よし、じゃ
帰ってゆつくり
風呂に入って
酒でも飲もうや
とっておきのヤツ
あるんだ

で、乾杯しよう
二人の再会と
これからを祝して